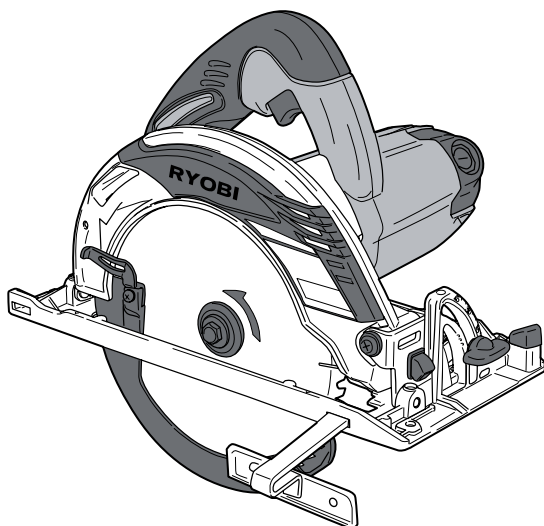


RYOBI

電子丸ノコ **左傾斜仕様**

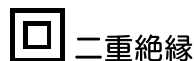
W-572ED
W-662ED

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意	1 ~ 6
■各部の名称・仕様	7
■付属品・用途・別販売品	8
■ご使用前の準備	9 ~ 12
■ご使用前の点検	13 ~ 14
■ご使用前の調整	15 ~ 18
■操作方法	19
■作業方法	20 ~ 24
■別販売品について	25 ~ 26
■保守と点検	27 ~ 28



このたびは、リョービ 電子丸ノコをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

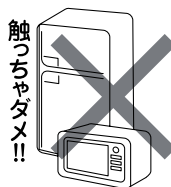
安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

△ 警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。



⚠ 警告

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

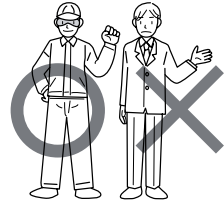
- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



10. 防音保護具を着用してください。

- ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

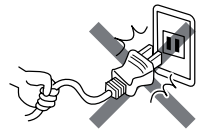


11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

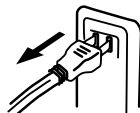
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

⚠ 警告

- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・使用しない、または修理する場合。
- ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。



21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

- ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

⚠ 警告

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているもので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

電子丸ノコご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、電子丸ノコをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

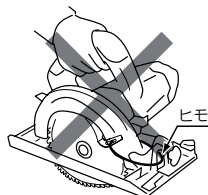
⚠ 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

2. ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。

- ・ノコ刃が露出していると、けがの原因になります。

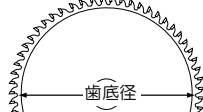


⚠ 警告

3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。

また、歯底径が W-572ED は 130mm 以下、W-662ED は 144mm 以下のノコ刃は使用しないでください。

・ ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。



4. 切断する材料は、必ず安定性のよい台に置いてください。

・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。

5. 切落とし寸前や切断途中で、材料の重みでノコ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

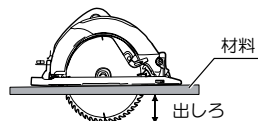
・ ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。

6. 材料の切落とし側が大きいときは、切落とし側にも安定性のよい台を設けてください。

また、切落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは少なくとも、ノコ刃の出しろの3倍以上にしてください。

・ このような台がないと、けがの原因になります。

（9 ページ『●作業台を用意します』参照）



7. 使用中は、本体を確実に保持してください。

・ 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。

8. 使用中は、ノコ刃や回転部、切り屑の排出部へ手や顔などを近づけないでください。

・ けがの原因になります。

9. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げてください。

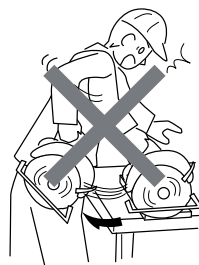
・ 回転させたまま本体を戻したり、持上げると強い反発力が生じ、けがの原因になります。

10. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

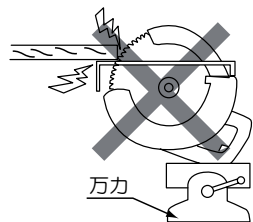
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ノコ刃など）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



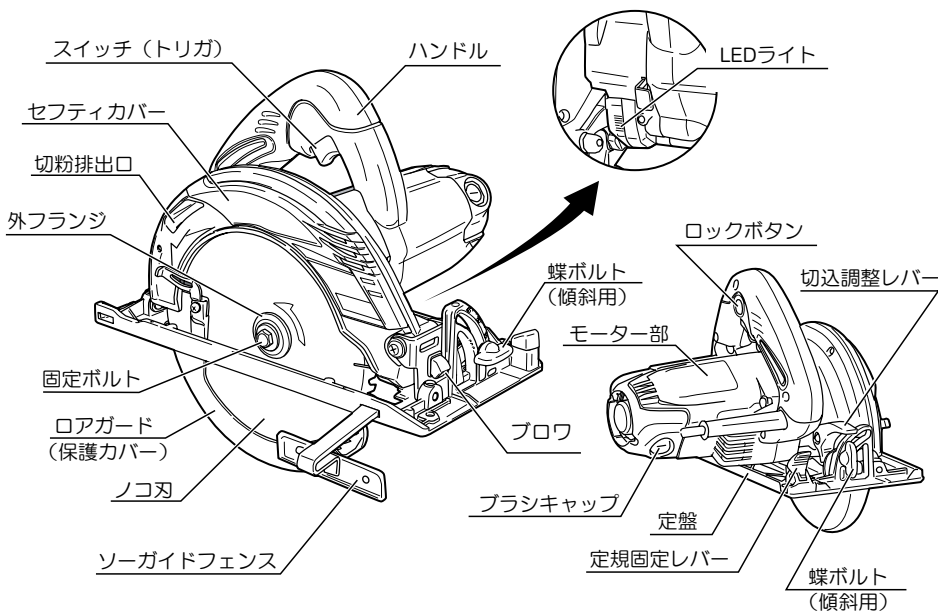
⚠ 注意

1. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にしないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本体の振動やノコ刃の面振れなど異常のないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - ・機体を落としたりし、けがの原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物が入ってないことを確認してください。
 - ・刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
9. 回転するノコ刃でコードを切断しないように注意してください。
 - 万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・感電の恐れがあります。
10. 本体を万力などで保持してノコ刃を上向きにした使い方はしないでください。
 - ・不意の接触などで、けがの原因になります。
11. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張ったり、引っかけたりしないようにしてください。
 - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
12. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。



各部の名称・仕様

●各部の名称

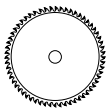
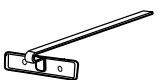



●仕様

モデル	W-572ED	W-662ED
電源	単相・交流 100V 50/60Hz	
定格電流	12A	
消費電力	1,150W	
無負荷回転数	4,000min ⁻¹	
最大切込深さ		
90° (直角切断時)	57mm	66mm
45° (右傾斜切断時)	37mm	44mm
5° (左傾斜切断時)	46mm	52mm
ノコ刃寸法 (外径×内径)	147 × 20mm	165×20mm
機体寸法 (長さ×幅×高さ)	249 × 213 × 230mm	276 × 218 × 243mm
コード長さ	5m	
質量	2.4kg	2.6kg
絶縁方式	二重絶縁	

付属品・用途・別販売品

●付属品

名称 モデル	チップソー 	ソーガイドフェンス 	ボックススパナ (10mm) 
W-572ED	1枚 レーザースリット有 (外径) (内径) (歯数) 147mm × 20mm × 52	1個	1個
W-662ED	1枚 レーザースリット有 (外径) (内径) (歯数) 165mm × 20mm × 52	1個	1個

●用途

- ・各種木材の切断

(注) 本機では金属、石材など木材以外の切断作業はしないでください。

また、切断砥石での切断、ベンチスタンドに取付けての使用はできません。

●別販売品

- ・チップソー

(W-572ED)

(外径) (内径) (歯数)

145mm × 20mm × 70

147mm × 20mm × 24

147mm × 20mm × 52

(W-662ED)

(外径) (内径) (歯数)

165mm × 20mm × 52

165mm × 20mm × 60

165mm × 20mm × 72

- ・集じんノズルセット (集じんノズル、ネジ (M4) 各1ヶ) (25 ページ参照)
- ・集じんホース (外径 30mm - 38mm, 長さ 2.5m) (25 ページ参照)
- ・角度定規組立 (26 ページ参照)
- ・平行定規組立 (26 ページ参照)

ご使用前の準備

●作業場に関して

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●漏電しゃ断器設置のおすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●作業台を用意します

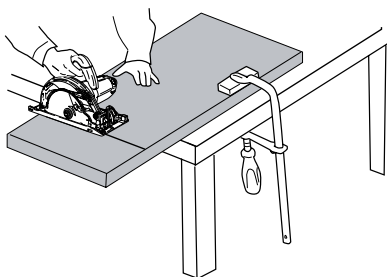
- ・ノコ刃は材料の下面より出ますので、材料は作業台の上に置いて切断してください。

作業台の高さ

- ・ノコ刃およびロアガードが地面に接触しないように、十分な高さ（ノコ刃の出しろの3倍以上）にしてください。

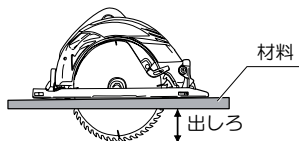
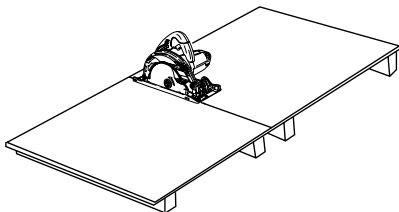
材料の固定

- ・切断する材料（切り残し側）をバイスなどで固定してください。両手で作業することができます。



⚠ 警告

- ・材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台または角材を設けてください。
- ・角材などを利用する場合は、地面の平らなところを選び、角材を固定してください。
- ・切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、ノコ刃の出しろの3倍以上にしてください。このような台がないと、けがの原因になります。



●延長コードについて

⚠ 警告

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ	最大の長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	15m
3.5mm ²	30m

●ノコ刃の取付け、取外し

⚠ 警告

- ・ノコ刃の取付け、取外しの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。
また、歯底径が W-572ED は 130mm 以下、W-662ED は 144mm 以下のノコ刃は使用しないでください。ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
- ・ノコ刃取付け後は、ボックススパナを取外し、ノコ刃交換用レバーが元に戻って、ノコ刃がスムーズに回転することを確認した後、スイッチを入れるようにしてください。スパナが飛ぶなどしてけがの原因になります。

⚠ 注意

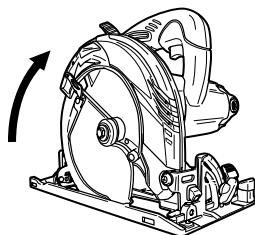
- ・ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
- ・ノコ刃の取付け、取外しは取扱説明書に従って確実に行ってください。確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
- ・ノコ刃の脱着は付属品のボックススパナ以外の工具を使用しないでください。締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

ご使用前の準備

(取付け)

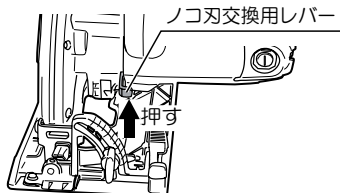
① 切込深さを浅くセットします。

- ・切込深さを浅くして、安定した台の上に丸ノコを置きます。
(15 ページ『切込深さの調整』参照)



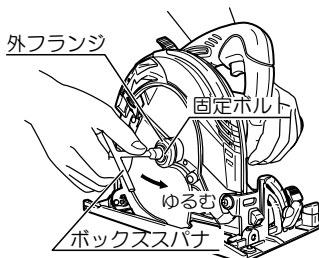
② ギヤシャフトを固定します

- ・ノコ刃交換用レバーを押さえた状態でギヤシャフトが固定される位置までゆっくりとボックススパナで固定ボルトを反時計方向に回します。



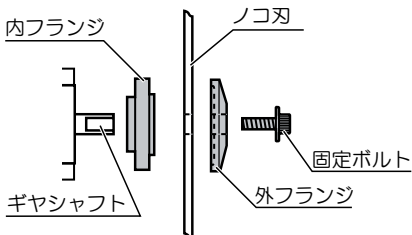
③ 固定ボルト、外フランジを外します

- ・ギヤシャフトを固定した状態で、ボックススパナを反時計方向に回し固定ボルトをゆるめ、固定ボルト、外フランジを取外します。



④ 内フランジの向きを確認

- ・内フランジは、20mm 径の凸（凸の高さが低い側）のついている方がノコ刃側になるように取付いているか確認してください。

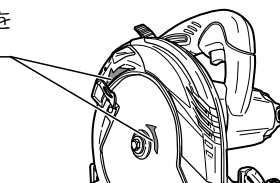


⑤ ノコ刃を取付けます

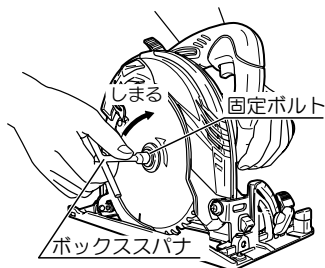
- ・手でロアガードをいっぱいまで引上げた状態で、内フランジ、ノコ刃、外フランジ、固定ボルトの順に取付けます。

(注) ノコ刃の矢印とセフティカバーの矢印方向が一致するように取付けてください。

矢印方向を
合わす。

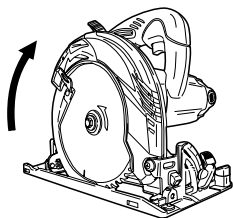


- ⑥ ギヤシャフトを固定した状態でボックススパナで固定ボルトを時計方向に十分に締付けます。

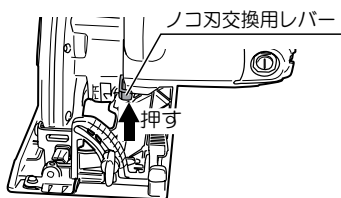


(取外し)

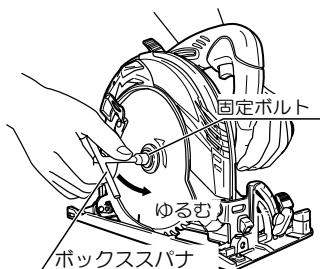
- ① 切込深さを浅くセットします
- ・切込深さを浅くして、安定した台の上に丸ノコを置きます。
- (15 ページ『切込深さの調整』参照)



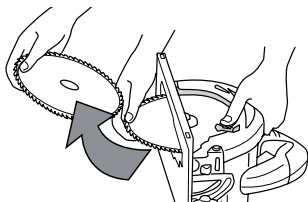
- ② ギヤシャフトを固定します
- ・ノコ刃交換用レバーを押さえた状態でギヤシャフトが固定される位置までゆっくりとボックススパナで固定ボルトを反時計方向に回します。



- ③ 固定ボルト、外フランジを外します
- ・ギヤシャフトを固定した状態で、ボックススパナを反時計方向に回し固定ボルトをゆるめ、固定ボルト、外フランジを取外します。



- ④ ロアガードのつまミを持って、ロアガードをセフティカバーの中に引込み、ノコ刃を取外します。



ご使用前の点検

⚠ 警告

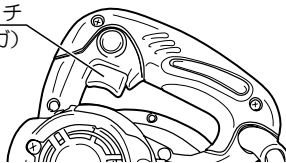
・ご使用前に次のことを確認してください。

①～⑤項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

① スイッチが切れていることを確かめます

- ・スイッチが入っていることを知らずに、電源プラグを電源コンセントにさし込むと、不意に動き、思わぬけがの原因になります。

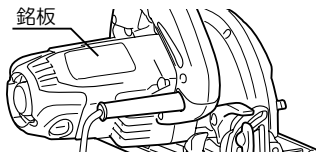
スイッチ
(トリガ)



② 電源を確かめます

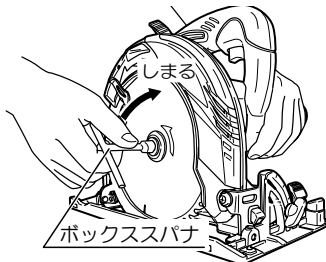
- ・必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速となり、機体が破損する恐れがあります。

銘板



③ ノコ刃の締付けを確かめます

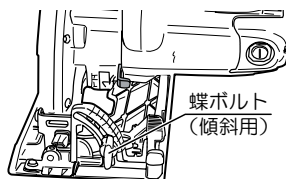
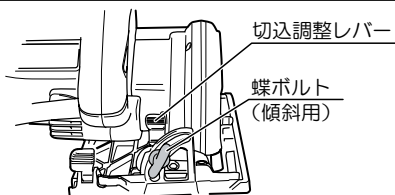
- ・ノコ刃交換用レバーを押込みながら、付属品のボックススパナで固定ボルトを時計方向に回しギヤシャフトを固定し、そのまま締付けてください。



④ 切込調整レバー、蝶ボルトの締付け具合を確かめます

⚠ 警告

・切込調整レバー、傾斜用蝶ボルト（2ヶ所）が十分締まっていることを確認してください。ゆるんでいると、けがの原因になります。

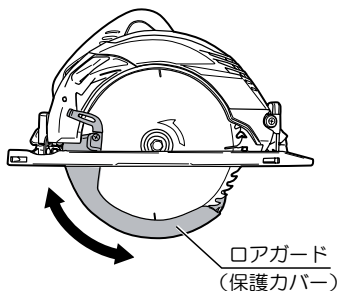


⑤ ロアガード（保護カバー）の動きを確かめます

⚠ 警告

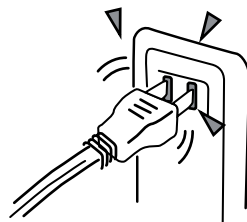
- ・ ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。ノコ刃が露出していると、けがの原因になります。

- ・ ロアガードは、身体がノコ刃に触れるのを防ぐものです。必ずノコ刃を覆うように円滑に動くことを確認してください。
- ・ 万一、ロアガードが円滑に動かない場合は、決してそのまま使用しないでください。この場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。



⑥ 電源コンセントを確かめます

- ・ 電源コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。



⑦ ブレーキがかかることを確かめます

⚠ 注意

- ・ ブレーキがかかるときの反発力に注意してください。機体を落としたりし、けがの原因になります。

- ・ 本機はスイッチを切ると同時にノコ刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。
- ・ 万一正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。

ご使用前の調整

⚠ 警告

- 調整の際は万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●切込深さの調整

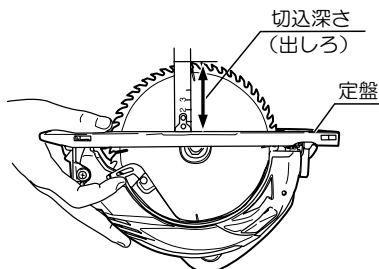
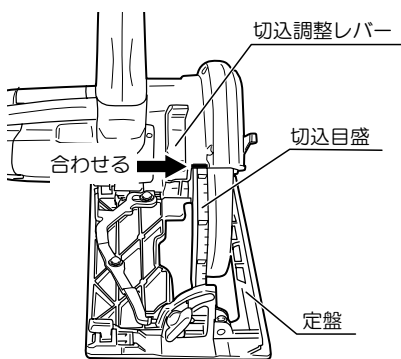
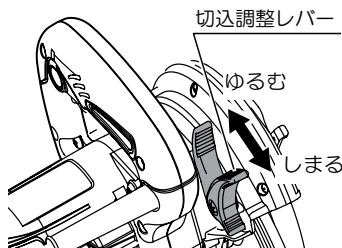
⚠ 警告

- 切込調整レバーがゆるんでいると、けがの原因になります。調整後、十分に締付けてください。

- 本体後方の切込調整レバーをゆるめて、定盤を上下させて調整します。調整後、切込調整レバーをしっかりと締付けます。

- 切込目盛を利用して切込深さが調整できます。右図の矢印位置に目盛を合わせてください。例えば、目盛線 15mm に合わせると、その時の切込深さは約 15 mm になります。目盛線は、3 mm ごとについています。

(注) 付いている目盛線でおおまかな切込深さに設定できますが、正確に調整するときは、ノコ刃の出しろを実測してください。なお、定盤とノコ刃を傾斜させているときは、この目盛線は使えません。

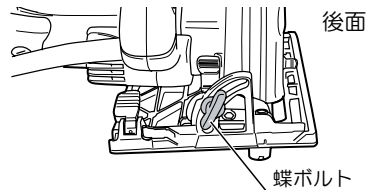


● 傾斜角度の調整

⚠ 警告

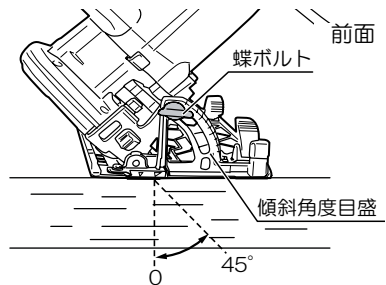
・ 蝶ボルトがゆるんでいると、けがの原因になります。調整後、十分に締付けてください。

・ ノコ刃を定盤に対して左 5° ・右 $0 \sim 45^{\circ}$ まで傾けて切断することができます。



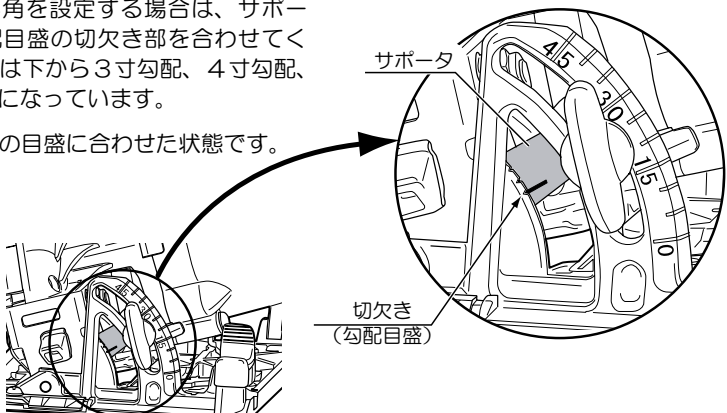
右傾斜 ($0 \sim 45^{\circ}$) の場合

1. 定盤前後の蝶ボルトをゆるめます。
2. 傾斜角度目盛を見ながら、定盤を必要な角度に傾けます。最大 45° まで傾けることができます。
(注) 正確な角度で切断したい場合は、定盤とノコ刃の角度を定規で実測してください。
3. 傾斜角度を決めたら必ず前後の蝶ボルトを締付けます。



・ 勾配目盛で傾斜角を設定する場合は、サポーターの線と勾配目盛の切欠き部を合わせてください。切欠きは下から3寸勾配、4寸勾配、5寸勾配の目盛になっています。

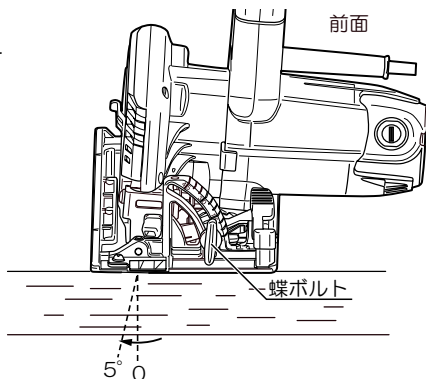
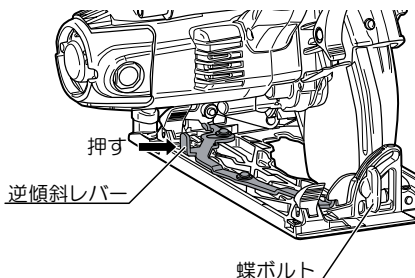
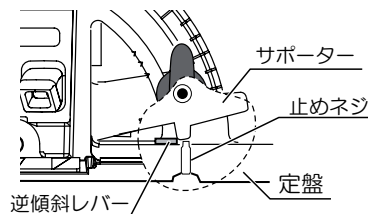
※右図は3寸勾配の目盛に合わせた状態です。



ご使用前の調整

左傾斜（5°）の場合

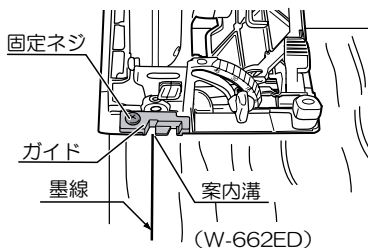
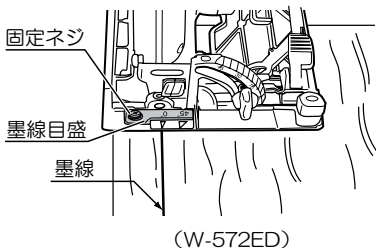
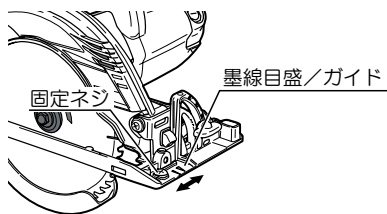
1. 切込み深さを浅くします。
(注) 左傾斜（5°）の場合の最大切込深さ
(W-572ED 46mm、W-662ED 52mm)
より浅く設定してください。
2. 定盤前後の蝶ボルトをゆるめます。
3. 逆傾斜レバーを矢印方向に押し、サポーターと止めネジが当たるまで定盤を傾斜させます。
4. 傾斜角度を決めたら前後の蝶ボルトを締付けます。



● 墨線目盛／ガイドの微調整

- ・ 墨線目盛／ガイドの取付位置を微調整できます。

工場出荷時の際は、墨線目盛の▲部／ガイド案内溝をノコ刃の側面に合わせてありますが、万一、取付け位置が狂っている場合は、固定ネジをゆるめ、墨線目盛／ガイドを左右に動かして、位置を調整してください。

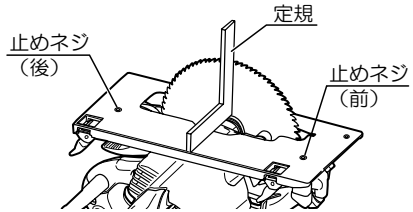


●直角度の微調整

- ・本機は直角度を微調整ができます。工場出荷時に0°位置に調整してありますが、万一、角度が狂った場合は、次のように調整してください。

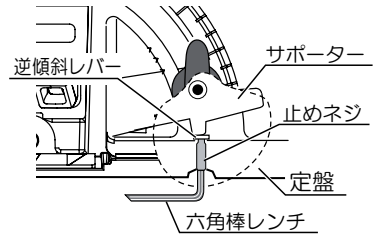
① 直角出しをします

- ・前後の蝶ボルト（傾斜用）をゆるめてください。
定盤裏面とノコ刃に直角定規（スコヤなど）を当て直角を出してください。（止めネジがサポーターの凸部に当たって直角にならない場合は、止めネジをゆるめてください。）
- ・蝶ボルトを軽く締めます。



② 角度の確認をします

- ・締付け時にずれが生じていないか、直角定規を当てて再度確認します。



③ 当り位置を固定します

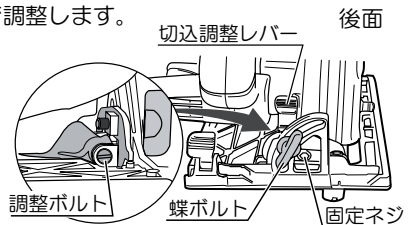
- ・定盤裏面の前後にある止めネジを六角棒レンチ（2.5 mm：市販品を使用してください）で回し、サポーターの凸部に当たるまで回します。
調整後は前後の蝶ボルトをしっかりと締付けてください。

●平行度の微調整

- ・定盤側面とノコ刃の平行度を微調整できます。工場出荷時に調整してありますが、万一、平行度が狂った場合は、次のように調整してください。
（注）切込調整レバーと蝶ボルトは締付けた状態で調整します。

① 定盤の固定ネジをゆるめます

- ・定盤後面の固定ネジを六角棒レンチ（2.5 mm：市販品を使用してください）でゆるめます。
- ・ロアガードをセフティカバーの中に引込みます。
- ・⊖ドライバで調整ボルトを回し、調整します。

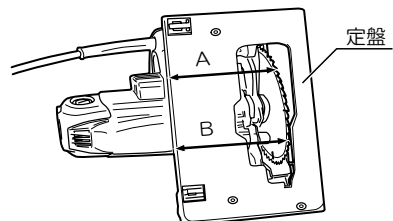


② 2ヶ所で計測し位置をそろえます

- ・定盤側面からノコ刃までの寸法 A、B が同じになるように調整ボルトを回し、調整します。

③ 調整後固定ネジをしっかりと締付けます。

- （注）平行度調整後、切込み深さ調整を行なうと平行度が若干変わる場合があります。



操作方法

●スイッチの扱い方

⚠ 警告

- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- ・スイッチは引き金方式です。
トリガを引くと入り、放すと切れます。

連続運転する場合

- ・トリガを引いた状態で握り部側面のロックボタンを押込むと、トリガから指を放してもスイッチは入ったままになります。

スイッチを切るとき

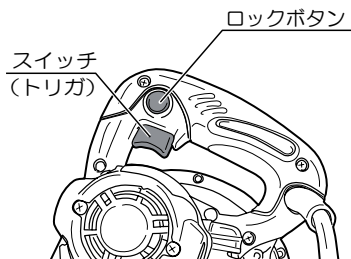
- ・再度トリガを引き、ロックボタンを戻し、トリガから指を放します。

ソフトスタート

- ・始動時の反動を押さえるため、ソフトスタート機構を備えています。

ブレーキ付

- ・スイッチを切るとノコ刃がすばやく止まるブレーキ機構を備えています。



●LED ライト

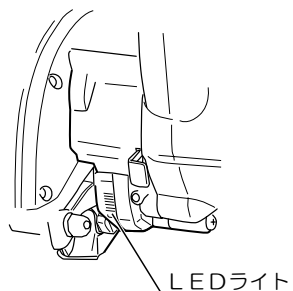
⚠ 警告

- ・LED ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。
LED ライトの光が連続して目にあると、目を痛める原因になります。

- ・墨線が見やすいLED ライトがついています。
- ・電源プラグを電源コンセントにさし込むと同時にLED ライトが点灯します。

(注)

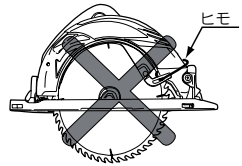
- ・ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照明低下の原因になります。
- ・ライトレンズの清掃の際は、ガソリン、シンナーなどでふかないでください。レンズを傷めます。



作業方法

⚠ 警告

- ・電源コンセントにつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。まっすぐ静かに進めてください。モーターに無理がかかるとともに、反発力を受け、けがの原因になります。
- ・ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。けがの原因になります。
- ・ノコ刃を上向き、横向きにした使い方はしないでください。けがの原因になります。
- ・使用中は、ノコ刃や回転部、切り屑の排出部へ手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。（保護めがね、防じんマスクは市販品を利用してください。）
- ・使用前にロアガード（保護カバー）やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか所定の機能を発揮するか確認してください。異常があるとけがの原因になります。
- ・ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。また、歯底径が W-572ED は 130mm 以下、W-662ED は 144mm 以下のノコ刃は使用しないでください。ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
- ・切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げてください。回転させたまま本体を戻したり、持上げると強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ・作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



⚠ 注意

- ・回転するノコ刃で、コードを切断しないよう注意してください。
- ・ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- ・使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。

作業方法

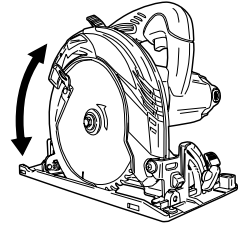
●墨線に沿って切断する（直角切り）

⚠ 警告

- ・安全のために①・②の操作はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

① 切込深さを調整します

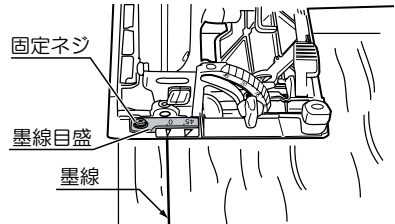
- ・材料の厚さに合わせて、切込深さを調整します。



② スイッチが切れていることを確認後、電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

③ 墨線に合わせます

- ・材料の上に本体（定盤）をのせ、定盤前部の墨線目盛の0°を墨線に合わせます。

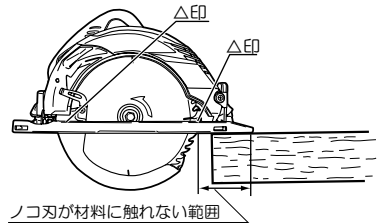


④ スイッチを入れ、ゆっくり進めます

- ・ノコ刃が材料に触れていないことを確認してスイッチを入れます。

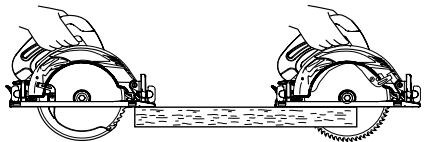
（注）定盤横の前後2ヶ所の△印は、最大切込深さにした場合のノコ刃の位置を示しています。切断開始および終了時のスイッチ操作の参考にしてください。

- ・ノコ刃の回転が上がリ、回転（全速）が安定したら定盤面を材料に密着させ、墨線目盛が墨線をなぞるようにゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。
- ・切断終了後は、ノコ刃を切断材から外してスイッチを切ります。



（作業のコツ）

- ・ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。特に切り始め、切り終わりはゆっくり進めてください。



●同じ幅でまっすぐ切断する（直角切り）

⚠ 警告

- ・安全のために①・②の操作はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

同じ幅の加工をする場合は、付属品のソーガイドフェンスを使用すると、墨線を入れる必要がなく、大変便利です。

① 切込深さを調整します

- ・材料の厚さに合わせて、切込深さを調整します。

② ソーガイドフェンスを取付けます

1. 定盤の前側にある長穴にソーガイドフェンスを横からさし込みます。

（注）定規固定レバーを「ゆるむ」の位置にしてソーガイドフェンスをさし込んでください。定規固定レバーが「しまる」の位置では入りません。

2. ソーガイドフェンスの案内面（内側）からノコ刃までの寸法が切断幅となります。ソーガイドフェンスを動かして切断幅を決めます。

3. 定規固定レバーを締め、ソーガイドフェンスを固定します。

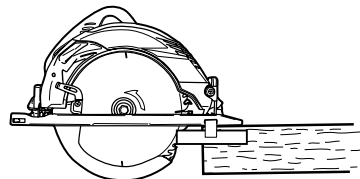
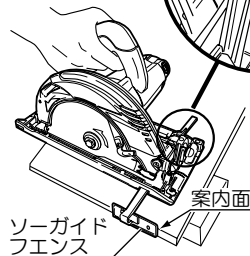
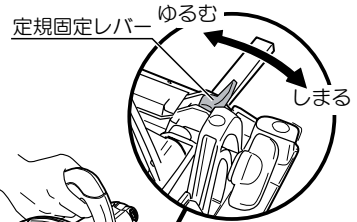
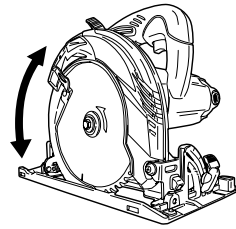
（注）ソーガイドフェンスは定盤の左右どちらからでも取付けられます。

③ スイッチが切れていることを確認後、電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

④ 材料の上に本体（定盤）をのせ、ソーガイドフェンスの案内面を材料の側面に沿わせ

⑤ スイッチを入れ、ゆっくり進めます

- ・ノコ刃が材料に触れていないことを確認し、スイッチを入れます。
- ・ノコ刃の回転が上がり、回転（全速）が安定したら定盤面を材料に密着させ、ゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。
- ・切断終了後は、ノコ刃を切断材から外してスイッチを切ります。



（作業のコツ）

- ・ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。特に切り始め、切り終わりはゆっくり進めてください。

作業方法

●傾斜で切断する（左 5°・右 0～45°）

⚠ 警告

・安全のために①・②の操作はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

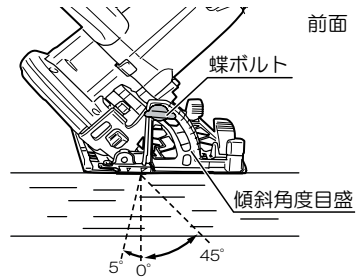
① 傾斜角度を調整します

・ノコ刃を左 5°・右 0～45°まで傾けて切断することができます。前後の蝶ボルトをゆるめ、定盤を傾斜させます。

（注）傾斜角目盛は定盤の前側にあります。正確な角度で切断したいときは、定盤とノコ刃の角度を定規で測定してください。

・傾斜角度を決めたら必ず前後の蝶ボルトを締付けてください。

（16～17 ページ『●傾斜角度の調整』参照）



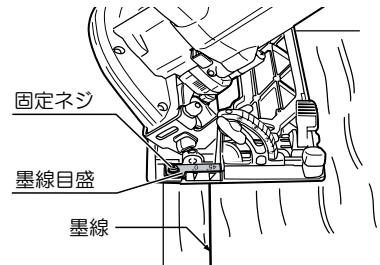
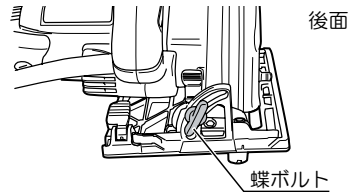
② 切込深さを調整します

・材料の厚さに合わせ切込深さを調整します。

③ スイッチが切れていることを確認後、電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

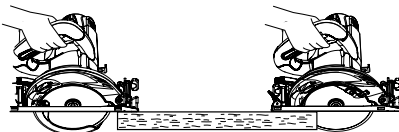
④ 墨線目盛を利用する（右傾斜 45°時のみ）

・墨線に沿って切断する時は材料の上に本体（定盤）をのせ、定盤前部の墨線目盛の 45°を墨線に合わせます。



⑤ スイッチを入れ、ゆっくり進めます

- ・ノコ刃が材料に触れていないことを確認し、スイッチを入れます。
- ・ノコ刃の回転が上がり、回転（全速）が安定したら定盤面を材料に密着させ、墨線目盛が墨線をなぞるようにゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。
- ・切断終了後は、ノコ刃を切断材から外してスイッチを切ります。



（作業のコツ）

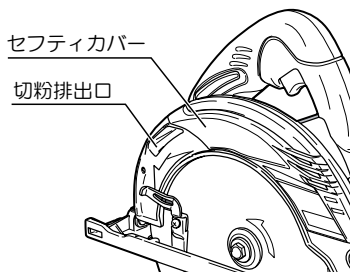
- ・ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。特に切り始め、切り終わりはゆっくり進めてください。

●切粉の排出について

⚠ 警告

- ・切粉を取除く前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがの原因になります。

- ・切粉は、セフティカバーの切粉排出口から出ますが、材料の種類・切断のやり方などによっては、まれに切粉がセフティカバー内につまることがあります。その際は、ノコ刃をはずし、セフティカバー切粉入口から空気を強く吹付けるか、または、やわらかい針金などでつまった切粉を取除いてください。



別販売品について

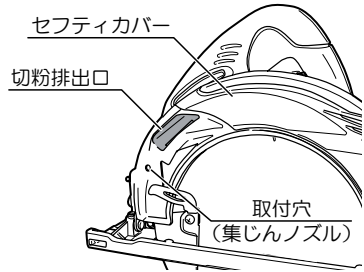
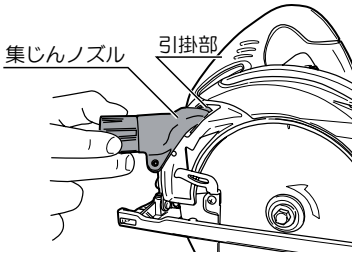
●集じんノズルセットと集じんホースの使い方

- ・別販売品の集じんセット（集じんノズル、ネジ（M4）各1ヶ）と集じんホースを使用して、集じん機に接続すると粉じんの少ない作業ができます。

① 集じんノズルの取付、取外し

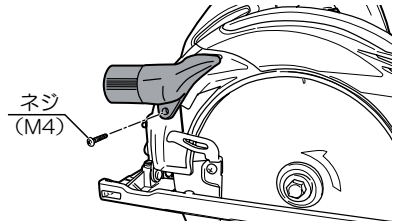
（取付け）

1. 集じんノズルの引掛部をセフティカバーの切粉排出口前方にさし込みます。



2. ネジ（M4）で集じんノズルを締付け、セフティカバーに固定します。

（注）ネジを切りながら締込むので、ゆっくりと締付けてください。

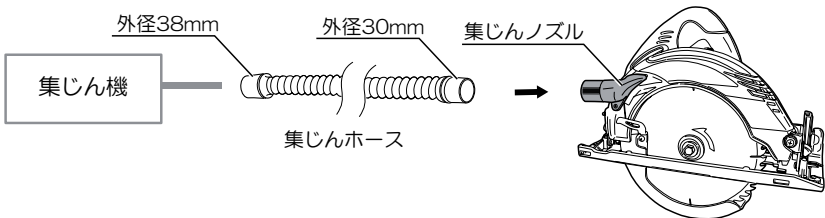


（取外し）

- ・取外しは、取付けと逆の手順で行ないます。

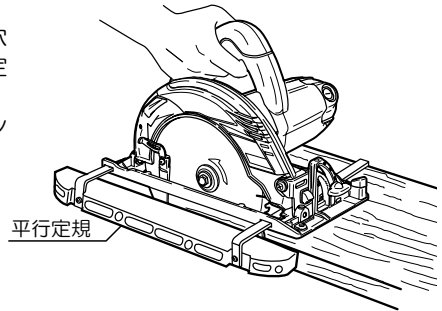
② 集じん機との接続

- ・集じんノズルに集じんホースの外径 30mm 側を接続し、その反対の外径 38mm 側を集じん機のホースに接続してください。



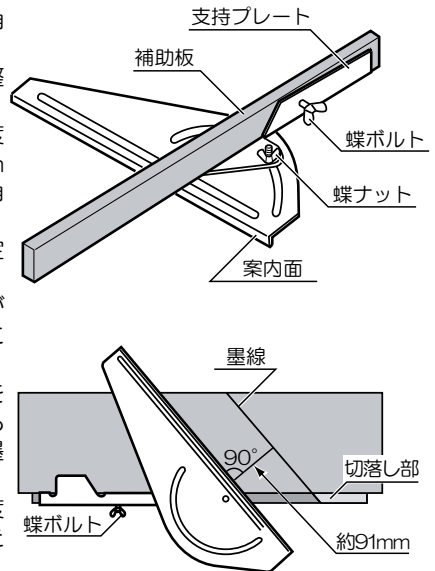
●平行定規組立の使い方

- 平行定規はソーガイドフェンスに比べ、材料の端面に対して、より安定した平行度で切断することができます。平行定規は定盤の左右どちらにでも取付けられます。
- 切断幅寸法はノコ刃と平行定規の案内面までの寸法を測って決めてください。
- 平行定規の取付けは、定盤の前後にある長穴に平行定規の足を横からさし込み、定規固定レバーで固定します。
取付方法は、22 ページ『②ソーガイドフェンスを取付けます』を参照してください。



●角度定規組立の使い方

- 角度定規は、直角位置から左右各 60° まで角度を調整することができます。
 - 蝶ナットをゆるめ、必要な角度に定規を調整します。
 - 角度定規を本体左側にセットする場合、角度定規の案内面と切断位置の距離は、約 91mm (3寸) 離れます。墨線から 91mm 離して角度定規を合わせてください。
 - 補助板を作り、角度定規に取付けると角度定規の位置が簡単に合わせられます。
 - 補助板は高さ 40mm 厚み 10mm で長さが 500mm 前後の板を用意し、支持プレートに蝶ボルトで固定します。
 - 角度定規を必要な角度に合わせた後、定規をセットし、補助板のノコ刃より長く出ている部分を切落とします。残った部分の先端を墨線に合わせてください。
- (注) 補助板の切落とし位置は角度定規の角度により異なります。定規の角度を変えた場合は補助板を作り直してください。



保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

●ノコ刃の点検について

- ・切れ味の悪くなったノコ刃をそのまま使用すると、モーターに無理がかかり作業能率も落ちます。早めに目立てするか新品と交換してください。
(交換方法は、ノコ刃の取付け、取外し(10～12ページ)を参照してください。)

⚠ 警告

- ・切れ味の悪くなったノコ刃はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●ロアガード（保護カバー）の動作点検と保守

- ・ロアガードは、いつも円滑に作動するようにしてください。なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

●集じんノズル内の清掃

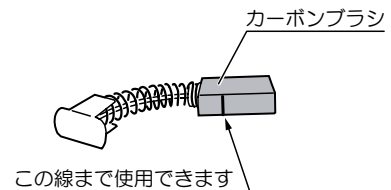
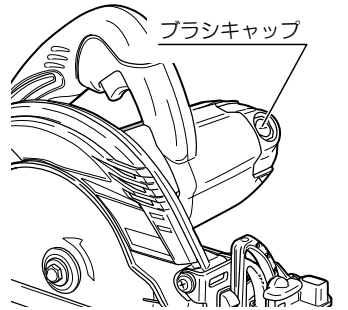
- ・切粉などがたまらないように定期的に点検・清掃してください。

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●カーボンブラシについて

- ・本機はモーター部に消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
- ・ブラシキャップを⊖ドライバーで取外し、カーボンブラシを取出してください。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。
この時、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くことを確認してください。



●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

— NOTE —

— NOTE —

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141

<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>